

藤 沢

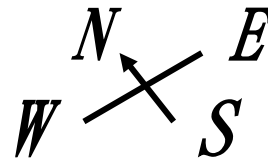
# エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2018年12月1日

第295号



主  
な  
記  
事

- ・ふじさわ環境フェア開催
- ・大気汚染とぜん息
- ・福島原発事故の食と農への影響
- ・小笠原の海

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: [aoyagipc@jcom.home.ne.jp](mailto:aoyagipc@jcom.home.ne.jp) 青柳

FAX 0466-87-4922

## 破滅的な地球温暖化を食い止めよう！！

一頑張ろう藤沢 CO<sub>2</sub>削減はまったなしー

記録的な猛暑や大規模豪雨、立て続けに上陸する台風など、今夏の気象の異常さを経験した。地球温暖化が進めば、将来はこんな気候が当たり前になってしまうのか？！ 先日、24日に行われたふじさわ環境フェア2018で「現状と2050年将来予測」「2100未来の天気予報」などのDVDを上映した。

その内容では、大気中のCO<sub>2</sub>濃度について、ハワイでの観測結果は、316ppm(1959年)から406ppm(2017年)と28%も増加した。IPCC2018総会特別決議は、世界の平均気温上昇は深刻で、現状のままでは早ければ2030年には産業革命前よりも1.5℃上昇すると予測し、温暖化対策を議論する上での科学的根拠を示し、この報告を195ヶ国が承認した。2030年までに世界全体で毎年45%のCO<sub>2</sub>排出量削減が必要で、温暖化対策の加速が急務となっている。EU議会はこの10月に2030年には現在より40%削減を決定。

これを受けて、12月2日～14日にはポーランドのカトウィツエで、COP24が開催される。各国のCO<sub>2</sub>排出削減目標の見直しとup、その実施ルールづくりが課題である。さらに、来年5月行われるIPCC総会は京都に決定、パリ協定の枠組みを守り発展・前進させるために現状と課題を明らかにし、将来のエネルギーは何に頼るべきか、高効率火力発電か、原発か、再生可能エネルギーか、日本政府、自治体、国民・市民による真剣な議論・取り組みが期待される。

災害時の電源確保には、分散型エネルギーシステムの構築が求められている。神奈川県や藤沢市は分散型エネルギーシステム・エネルギーの地産地消推進計画を決定し取り組んでいる。2022年までにCO<sub>2</sub>の40%削減を掲げている藤沢市の地球温暖化対策について10月の学習会で、現在、27.7%の削減を達成(2015年度)で、目標達成まであと13%に迫っていることが分かった。

達成できればEUに先立つこと8年も早い達成となる。

「藤沢市環境基本計画」や「エネルギーの地産地消推進計画」を決定している藤沢市において行政・議会・企業・市民は力を合わせてこの目標達成に向けて頑張ろう。もし、東京オリンピックまでに目標を達成できれば、セーリング会場である藤沢市は40万都市では世界のトップランナーとなれるはずである。(宮地俊作)



湘南台駅地下広場のクリスマスツリー  
今年はブルーの光 プレゼントがいっぱい！

## ふじさわ環境フェア開催される Eco<sup>2</sup> まつり 2018

11月24日、藤沢市民会館で第23回ふじさわ環境フェアEco<sup>2</sup>まつり2018が開かれた。市長が参加のオープニングイベントから始まり、48団体出展の展示・体験、ワークショップ、学習会、飲食ブースと屋内外でにぎやかに盛り上がった。クイズラリー、ガイドツアーで展示ブースを回って学習し、スタンプラリー抽選会などで景品をゲット、親子連れの子も達が目立った。

藤沢エコネットの地球温暖化防止動画上映会は別会議室で開かれ、参加者が少なく、もうひと工夫必要だった。



大勢が集りオープニングイベント 前庭で



子どもに人気の ふじキュン♡



展示会場 藤沢エコネットのブース



クイズラリー抽選会は おおにぎわい！

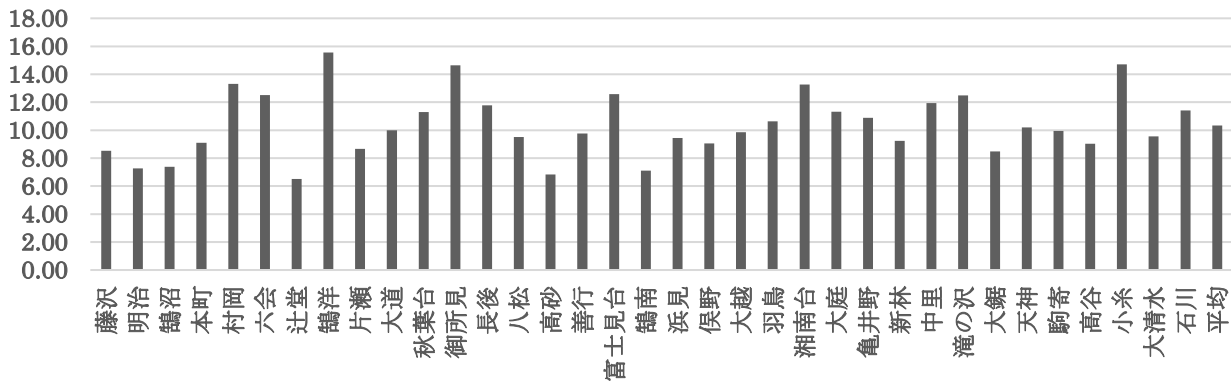


## 大 気 汚 染 と ぜ ん 息

毎年夏と冬の2回、藤沢の空気を考える会で約250本の測定管を用いて、約80人の方々が大気簡易測定に参加しています。24時間、小さい管をつるしておくだけなので、誰でも参加できます。

今夏2018年6月の大気汚染(NO2)調査の結果、平均は0.032ppmでした。環境基準(0.04~0.06ppm以下)を満たしています。しかし旧環境基準(0.02ppm)は満たしていません。今までの経験では0.02ppm以上ではぜん息は減っていません。昨年の小学校ぜん息罹患率平均は10.34%でした。

小学校別ぜん息罹患率(2017年度 %)



大気汚染 2018年6月地区別集計6/7. 8

|       | 件数 | 道路沿   | 件   | 非道路沿  | 計   | 平均ppm |
|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|
| 片瀬    | 1  | 0.001 | 12  | 0.019 | 13  | 0.018 |
| 鶴沼    | 6  | 0.028 | 13  | 0.012 | 19  | 0.017 |
| 辻堂    | 3  | 0.030 | 8   | 0.007 | 11  | 0.013 |
| 村岡    | 15 | 0.011 | 18  | 0.012 | 33  | 0.012 |
| 藤沢    | 18 | 0.074 | 5   | 0.006 | 23  | 0.059 |
| 明治    | 3  | 0.034 | 5   | 0.008 | 8   | 0.018 |
| 善行    | 6  | 0.025 | 4   | 0.014 | 10  | 0.021 |
| 湘南大庭  | 14 | 0.101 | 8   | 0.035 | 22  | 0.077 |
| 六会    | 2  | 0.004 | 8   | 0.004 | 10  | 0.004 |
| 湘南台   | 9  | 0.023 | 15  | 0.021 | 24  | 0.022 |
| 遠藤    | 0  |       | 9   | 0.017 | 9   | 0.017 |
| 長後    | 0  |       | 7   | 0.009 | 7   | 0.009 |
| 御所見   | 10 | 0.061 | 4   | 0.018 | 14  | 0.049 |
| 市(平均) | 87 | 0.056 | 116 | 0.013 | 203 | 0.032 |
| 鎌倉三浦茅 | 2  | 0.019 | 9   | 0.019 | 11  | 0.019 |



### 「福島原発事故の食と農への影響」

11月4日、日本大学生物資源科学部と福島の子もたちとともに湘南の会共催の講演会へ行ってきました。生憎の荒天にも関わらず、六会の日大キャンパス博物館内の会議室の座席が9割程埋まり、多くの方々が『福島原発事故の食と農への影響～わたしたちにできること～』と題した、日本大学生物資源科学部の小林信一教授による講演に熱心に耳を傾けていました。

学生時代からの福島との繋がりを大切になさってきた小林教授のお話からは、福島で暮らし、生きている人たちの姿、そして原発事故により大切なものを一瞬にして奪われた人たちの悲しみや苦悩がよく伝わってきました。特に印象的だったのは、事故が起きる前の美しい緑豊かな牧場の様子を映した写真と、その当時を振り返る小林教授のお話しぶり。事故で失われたものがいかに尊いものであったか、大切なものを失った人たちの苦しみは、私の想像を超えていると感じました。

フクシマは終わっていない、人々の苦しみは続いている。それを忘れない責任が私たちにはあると、改めて痛感しました。福島第一原発で作られた電気は長い間首都圏へ送られ、使われてきました。つまり、首都圏に住む者全て、フクシマに対する責任があり、苦しみを共有する責務があるのです。

次ページへ

前ページからのつづき

また講演後半では、北海道の地震後の停電、耕作放棄地の再利用、鳥獣害についても触れてくださった小林教授。フクシマからさらに日本全体の現状、世界との関わりにまで繋がるお話は、多くの示唆や刺激に富み、ひとりの聴衆として、楽しく有意義な1時間半を過ごすことができました。今後も情報のアンテナを伸ばしつつ考え続けること、行動し続けること。それがわたしたちにできることだと確信した次第です。フクシマとともに。福島とともに。未来の子どもたちとともに。  
(藤岡みどり)

## 小笠原の海

写真は

2018年5月  
10日に大島  
～三宅島間の  
海域で発生し  
た竜巻ですが、  
何と！このほ



か4本計6本の海上竜巻が次から次と発生し危うく巻き込まれるところでした。

ヨット歴50年にもなるクルーの一人も初めての経験だという事でした。

陸で普通に暮らしていると気が付かない異常な事が起きています。

もう一枚は父島沖でのプランクトン採取の画像。生物の周りにはゴミが見えませんが、(よくわからない写真ですが、)



東京湾から79時間計4か所でプランクトンネットを曳き海の状況を見てきました、やっと小笠原近海で綺麗な海を見ることが出来ました。(武本 匡弘)

## 放射能測定値 (市民計測)

(HORIBA Radi) 単位 ( $\mu\text{Sv/h}$ ) 地上 50cm

|       |         |       |
|-------|---------|-------|
| 11/13 | 城山公園駐車場 | 0.065 |
| 11/13 | 城山公園草むら | 0.038 |
| 11/26 | 太陽の家駐車場 | 0.034 |

## ECONET INFORMATION

### ▲空気の汚れ (NO<sub>2</sub>) 測定

12/6～7の24時間 簡易カプセルで測定  
藤沢の空気を考える会

### ▲クールチョイス FSST見学ツアー

藤沢サスティナブルスマートタウンの省エネ住宅見学

12月8日(土) 10:00- 13:00- 15:30-

12月12日(水) 13:00- 13:30-

高校生以上各20人 参加費 無料

申込 ☎0120-045-657 fax 045-664-3592

主催 藤沢市環境総務課 ☎25-1111(3311)



### ▲ふじさわ・不戦の誓い平和行動

子どもたちに「戦争しない国」を手渡ししょう

12/8(土) 13:00-15:00 辻堂駅北口デッキ

・歌や踊り ・市民と議員によるスピーチなど

主催 ふじさわ不戦の誓い平和行動実行委員会

### ▲除染土再利用・埋め立て処分方針を問う

・各地からの報告 ・パネルディスカッション

12月23日(日) 13:30- 資料代: 500円

東京しごとセンター地下講堂 (JR飯田橋駅から徒歩6分)

主催: 飯館村放射能エコロジー研究会 (IISORA)

国際環境 NGO FoE Japan、原子力市民委員会

TEL: 03-6909-5983

### ▲藤沢エコネットから

◆学習会「地球温暖化防止のために～地産地消エネ  
藤沢のこれから」DVD上映「激変する世界ビジネス  
“脱炭素革命”の衝撃」を観ます

1月26日(土) 10:00- 市民活動センターにて

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

ゆうちょ銀行 (9900) 店番 (029)

当座預金 0046501 ㊿ ザエコネット

◆事務局会議 12月1日(土) 10:00～推進センター

《編集後記》今年もあと1ヶ月。振り返ってみると災害が多かった。台風による各地の豪雨、北海道地震による山の崖崩れの写真が目には焼き付いている。仮設住宅での生活を送っている被災者も年の瀬を迎え何と心細いことか。それにしても今年はまだ“木枯し1号”も来ていない。気候が狂ってしまっているのか、その後にくる異変が恐ろしい。世界規模での温暖化防止をしなければ…。アメリカのトランプ大統領は今年6月にパリ協定から離脱宣言したが、撤回を願いたい。(H)